

【 診療科:婦人科】
 【 レジメン登録番号:GY-41 】

〈 PLD-C+Bevacizumab療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール (day)	
			1	28
ペバシズマブBS	15mg/kg	div	○	
ドキシル	30mg/m ²	div	○	
カルボプラチン	AUC:5	div	○	

【1コース期間: 28 日】 【総コース数:6コース】

【適応癌種:卵巣癌 】

【時期: 術前 、 術後 、 手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ペバシズマブBS 15mg/kg	div(初回90分、2回目60分、3回目以降30分でも可)
	生理食塩水 100mL	
Rp.2	デキサート 6.6mg	div(30分で)
	5-HT3R blocker 1A	
	5%ブドウ糖 50mL	
Rp.3	ドキシル 30mg/m ²	div(60分で) ^{※1}
	5%ブドウ糖 250 mL	
Rp.4	カルボプラチン AUC5	div(60分で)
	5%ブドウ糖 250mL	
Rp.5	生理食塩水 50 mL	div(フラッシュ用、全開で)

【参考文献:Lancet Oncol 2020;21:699-709 】

【備考:※1: インラインフィルターを使用しないこと。また、ドキシルは1mg/分をこえない速度で投与すること。

※ドキシルの累積投与量に注意すること。

※6コース終了後は増悪するまでBvacizumabのみで継続する。(15mg/kg q3w)

【変法情報:

】